

環境教育 「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



江戸時代さながらの町並みが続く
御油宿。旅籠がずらりと軒を並べ、
宿泊客の奪い合いがくりひろげられた頃
を想像しながら、細くうねった道をゆるり
と散策しよう。
御油から赤坂の間には、東海道中에서도とも
見事な松並木がある。

東海道五十三次
第三十五宿

御油

明治以降はJRや国道の
建設からなすれ、また戦災
など大きな災害にもあわ
なかつたため、江戸時代と
ほとんど変わらぬ田舎
と、連子松ややしき、壁
竹矢来などのある家がま
しりと続き、自然な曲線を
描いている道が心地よい。



本宿はすまじい勢
で旅人の奪い合いと
する旅籠の留め女
の風俗を描いたこの
宿場には、最盛期に
は百軒もの旅籠が
あったといわれ、へん
なにぎわいであつた



御油の松並木は約六百メートル
にわたる見事なもので、国の
天然記念物とされている。
幹肌が亀甲状にヒコワレてい
るのが特徴の三河黒松であ
る道の両脇に土手のまうな
土盛りがあり、松はこの上に植
わてているが、当時の街道も
このまうばかりだといわれる。
本宿の松の中にも、さらに大きき用が
あり、お内枝と云う松は松の中に
彫り師、摺り師、絵師、旅元の名刺

を入れて
ちやかりPR
をした。
御油宿は三
宿中でも昔の
面影がよく残
ることで知ら
れる宿場である。